

知るは楽しい！琵琶湖文化館

[第16回] クイズ チャレンジ!!

琵琶湖文化館の収蔵品の中から、あるいは知っているようで知らない文化財のことについて、あれこれクイズにしてみました。是非チャレンジしてみてください！

問題 46

地蔵菩薩じそうぼさつは、お釈迦様がなくなったのち、56億7000万年後に弥勒菩薩みろくぼさつがこの世にあらわれるまで、命あるものすべてを救済するため、この世に出現しているという仏さまです。

そこで問題です。全国で国指定重要文化財（国宝含む）に指定されている彫刻の地蔵菩薩像は147件あり、滋賀県では31件が指定されていますが、この数は全国で何番目となるでしょうか？順位を当ててください。

- ① 1位 ② 2位 ③ 3位



問題 47

琵琶湖文化館の収蔵品の中には、歴史的に著名な人物が書いた書跡や、殿さまが書きつけた文書が、数多く収蔵されています。中には歴史上重要な人物が手紙のやりとりをした関係資料などもあり、滋賀の郷土史を知るうえでも、とても重要な資料群となっています。ここで豆知識問題です。古い時代の手紙をあらわす言葉に「書簡」と「書状」があります。では、どちらの時代が新しいでしょうか？

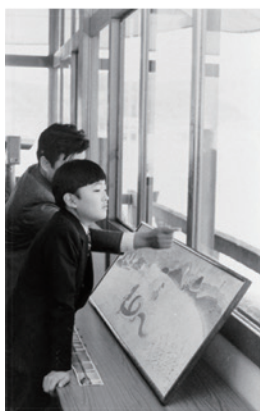


田中家資料（本館蔵）

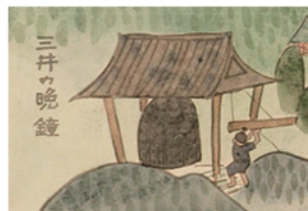
- ① 書簡 ② 書状

問題 48

琵琶湖文化館が所蔵する日本画「近江」は、昭和52年（1977年）11月に当時の礼宮文仁親王あやのみやふみひと（皇嗣秋篠宮殿下）をお迎えし、展望閣から琵琶湖の風景や湖国の伝説をご説明するために描かれた作品です。画面中央には大きな龍神が描かれていますが、ここで問題。次のうち、龍神が登場する滋賀の伝説はどれ？



① 比良八荒ひらの はっこう



② 三井の晩鐘みい ばんしゅう



③ 伊吹山と日本武尊いぶきやま やまとたけるのみこと

ヒント
龍の眼にご注目！

滋賀県立 琵琶湖文化館

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先
TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634
E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp
ウェブサイト / <http://www.biwakobunkakan.jp>

クイズの答えは、裏面に豆知識と一緒に掲載しています。当館のウェブサイトでは、様々なクイズを随時更新しています。答えのヒントとなる「滋賀県の指定文化財」や「収蔵品紹介」などのページもご覧いただけますので是非チェックしてみてくださいね。



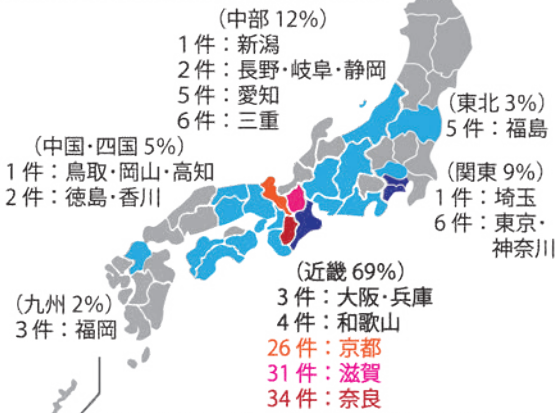
知るは楽しい！琵琶湖文化館

[第16回] クイズチャレンジ!!

【解答編】

答え46

国宝・重要文化財の地蔵菩薩像 (彫刻) 指定件数分布状況



文化庁 Web 国指定文化財等データベース検索
[国宝・重要文化財(彫刻)・地蔵菩薩] (2020.10.26 現在調べ)

正解は【② 2位】

地蔵菩薩像は、平安時代に阿弥陀仏の極楽浄土へ往生することを願う浄土信仰が盛んになると、数多くつくられるようになりした。地図で国指定文化財となっている地蔵菩薩像の分布状況を見ると、近畿に集中していることがよくわかりますね。

ちなみに「六地蔵」は、生前の行いによって死後にめぐるとされる六道(人道・天道・地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道)のそれぞれにおられ、衆生を救済するという6体の地蔵菩薩さまのことです。民間信仰では、村の境界や道の辻の道祖神として、また「子供の守り神」として親しみを込めて「お地蔵さん」と呼ばれていますね。

地蔵菩薩は、閻魔大王の化身とも言われていますよ。

意外と身近なところで見ておられますので、

日ごろの行いに気を付けないと…ですね?!



西川吉輔書簡 (本館蔵)

答え47

正解は【① 書簡】

古い手紙などの資料については、江戸時代までに書かれたものを「書状」、明治以降にかかれたものを「書簡」と、名称を使い分けされることが多く、覚えておくと便利です。(そのほか広い意味で「文書」「関係資料」とまとめられることもあります。)手紙のやり取りを検証すると、その人物が誰と関係があったか、どのような付き合いをしていたかなど、当時を知る手がかり・足がかりとなり、新たな発見につながります。



答え48

正解は【② 三井の晩鐘】

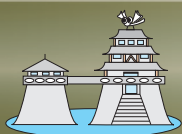
近江八景の一つにも数えられる三井の晩鐘[大津市：三井寺(園城寺)]。現在鐘楼に吊るされている梵鐘(県指定文化財)には民話が伝わっています。琵琶湖に住む龍神の娘が漁師と夫婦となり子を産みますが、正体が龍神であることを知られ琵琶湖へ戻らなければならなくなります。そこで幼い我が子のため自分の目玉くり抜き、乳のかわりにと子どもに与えます。一つ、また一つ。とうとう目が見えなくなっ



日本画「近江」(本館蔵)

た龍神は、毎日三井寺の鐘を鳴らし二人の無事を知らせてほしいとお願いし琵琶湖に帰っていったということです。

来館当時、学習院初等科6年生であった文仁親王殿下(皇嗣秋篠宮殿下)もご覧になったこの絵は、安土城考古博物館で行われている地域連携企画展「琵琶湖文化館の『博物誌』 浮城万華鏡の世界へようこそ!」(会期:令和3年2/6~3/21)にて公開しました。



滋賀県立 琵琶湖文化館

ウェブサイト / <http://www.biwakobunkakan.jp>

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先
TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634

E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp